

発表事項

- 1 平成30事業年度事業状況及び決算
 - (1) 一般会計
 - (2) 後期高齢者医療特別会計等
- 2 社会保険診療報酬支払基金定款の一部変更
- 3 令和元年6月審査委員改選の状況

4 平成30年度診療報酬等確定状況（平成30年4月診療分～平成31年3月診療分）

- 5 平成30年度の審査状況（平成30年5月審査分～平成31年4月審査分）
- 6 平成31年4月審査分の審査状況
- 7 平成30年度特別審査委員会の取扱状況（平成30年5月審査分～平成31年4月審査分）
- 8 令和元年6月審査分の特別審査委員会取扱状況
- 9 令和元年度第2期（5月）分の後期高齢者支援金等収納状況

確定件数 –平成28～30年度– ～全国計～

・医療保険の増加は被用者保険の加入者増が影響

・各法の増加は地方単独事業の請求件数増が影響

単位：万件

■ 制度別	28年度	29年度		30年度	
			前年度増減率		前年度増減率
医療保険	87,078 (82.3%)	89,879 (82.2%)	+3.2%	91,841 (81.6%)	+2.2%
各法	18,703 (17.7%)	19,458 (17.8%)	+4.0%	20,744 (18.4%)	+6.6%
総計	105,781 (100.0%)	109,337 (100.0%)	+3.4%	112,585 (100.0%)	+3.0%

■ 診療種別	28年度	29年度		30年度	
			前年度増減率		前年度増減率
医科	57,087 (54.0%)	58,631 (53.6%)	+2.7%	60,035 (53.3%)	+2.4%
歯科	13,462 (12.7%)	14,048 (12.8%)	+4.4%	14,571 (12.9%)	+3.7%
調剤	35,120 (33.2%)	36,525 (33.4%)	+4.0%	37,822 (33.6%)	+3.6%
(再掲)食事・生活	832	841	+1.1%	837	▲0.4%
訪問看護	113 (0.1%)	133 (0.1%)	+18.5%	158 (0.1%)	+18.3%
総計	105,781 (100.0%)	109,337 (100.0%)	+3.4%	112,585 (100.0%)	+3.0%

※（ ）：構成割合 ※端数整理上、合計が一致しない場合がある。

※「食事・生活」については、医科・歯科における入院のうち入院時食事療養費又は入院時生活療養費が算定された件数である。

確定金額 ー平成28～30年度ー ～全国計～

・「食事・生活」は食事・生活療養費から標準負担額を控除したものであり、
その減少率が高いのは標準負担額が上げられたことが主たる要因

単位：億円

■ 制度別

	28年度	29年度		30年度	
			前年度増減率		前年度増減率
医療保険	93,851 (79.1%)	97,573 (79.3%)	+4.0%	99,768 (79.5%)	+2.2%
各法	24,806 (20.9%)	25,408 (20.7%)	+2.4%	25,677 (20.5%)	+1.1%
総計	118,656 (100.0%)	122,981 (100.0%)	+3.6%	125,445 (100.0%)	+2.0%

■ 診療種別

	28年度	29年度		30年度	
			前年度増減率		前年度増減率
医科	83,482 (70.4%)	86,178 (70.1%)	+3.2%	88,517 (70.6%)	+2.7%
歯科	10,932 (9.2%)	11,305 (9.2%)	+3.4%	11,636 (9.3%)	+2.9%
調剤	22,485 (18.9%)	23,637 (19.2%)	+5.1%	23,436 (18.7%)	▲0.8%
食事・生活	1,192 (1.0%)	1,185 (1.0%)	▲0.6%	1,045 (0.8%)	▲11.8%
訪問看護	566 (0.5%)	677 (0.6%)	+19.5%	810 (0.6%)	+19.7%
総計	118,656 (100.0%)	122,981 (100.0%)	+3.6%	125,445 (100.0%)	+2.0%

※（ ）：構成割合

※端数整理上、合計が一致しない場合がある。

確定状況及び診療諸率 - 平成30年度 - ～全国計～

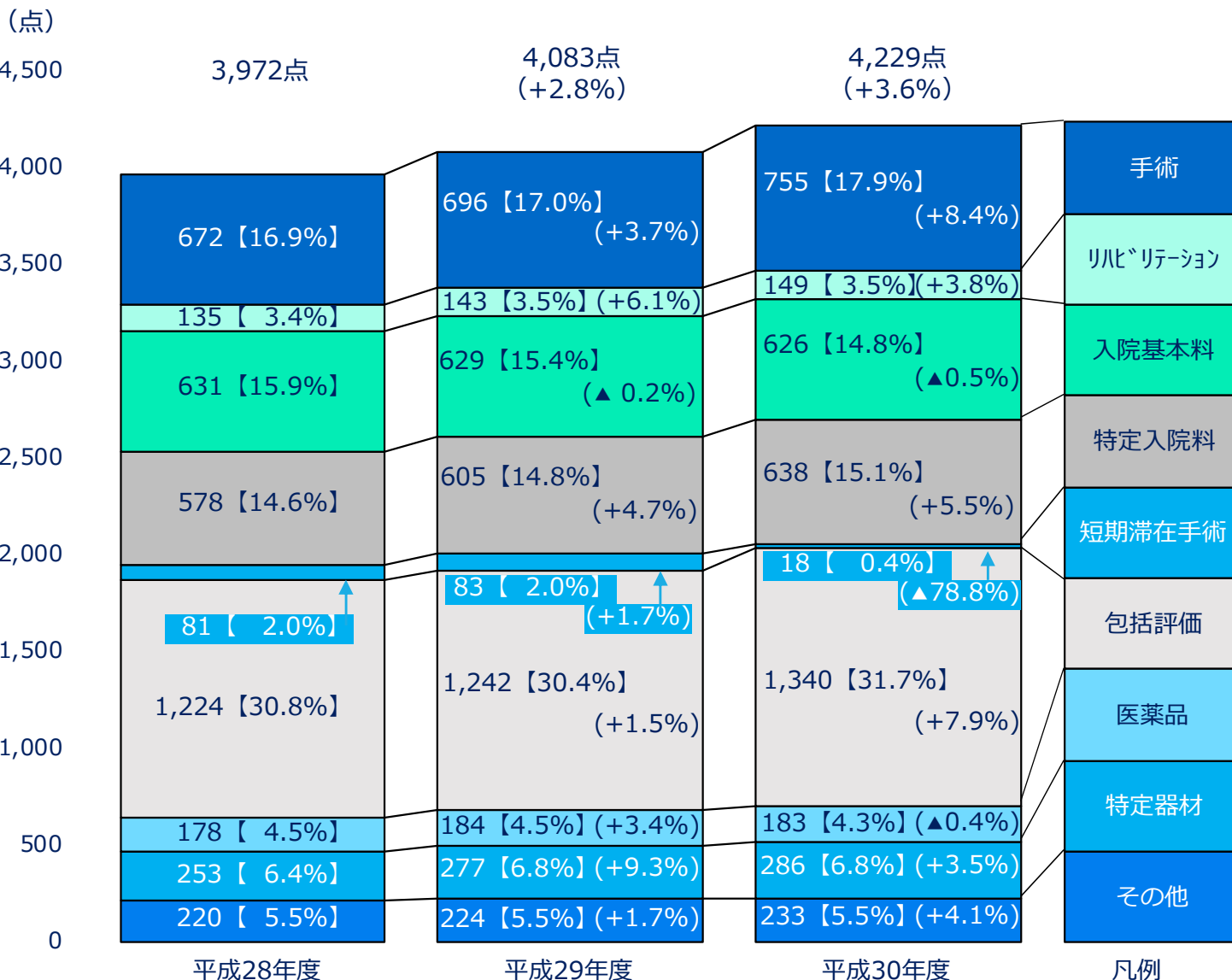
医療保険

	合計	医科入院	医科入院外	歯科	調剤	訪問看護
確定件数（万件）	91,841 (+2.2%)	700 (+0.2%)	48,306 (+1.6%)	12,713 (+2.9%)	30,068 (+2.8%)	53 (+16.1%)
日数（万日）	96,105 (+0.6%)	6,429 (▲0.4%)	68,046 (+0.6%)	21,306 (+0.6%)	36,402 (+2.0%)	324 (+16.1%)
点数（百万点）	1,296,631 (+2.1%)	357,485 (+3.1%)	530,716 (+2.4%)	149,295 (+2.8%)	255,335 (▲0.4%)	3,800 (+18.5%)
確定金額（億円）	99,768 (+2.2%)	30,627 (+3.0%)	39,583 (+2.6%)	10,593 (+2.8%)	18,685 (▲0.2%)	280 (+18.7%)
1件当たり点数	1,412 (▲0.0%)	51,039 (+2.9%)	1,099 (+0.8%)	1,174 (▲0.1%)	849 (▲3.1%)	7,119 (+2.1%)
1件当たり日数	1.05 (▲1.6%)	9.18 (▲0.7%)	1.41 (▲1.0%)	1.68 (▲2.2%)	1.21 (▲0.8%)	6.07 (+0.0%)
1日当たり点数	1,349 (+1.5%)	5,561 (+3.6%)	780 (+1.8%)	701 (+2.2%)	701 (▲2.3%)	1,173 (+2.1%)

- 1) ()内は対前年度増減率である。
- 2) 点数欄の数値には、食事・生活療養費及び訪問看護療養費を点数換算した数値を含む。
- 3) 確定金額欄の数値には、食事・生活療養費の金額を含む。

診療行為大分類の推移 ～電子レセプト 1日当たり点数～

医科入院



平成30年度における主な増減要因

【短期滞在手術】の減少
 DPC対象病院については「短期滞在手術等基本料2または3」ではなく、包括評価を優先することになった影響

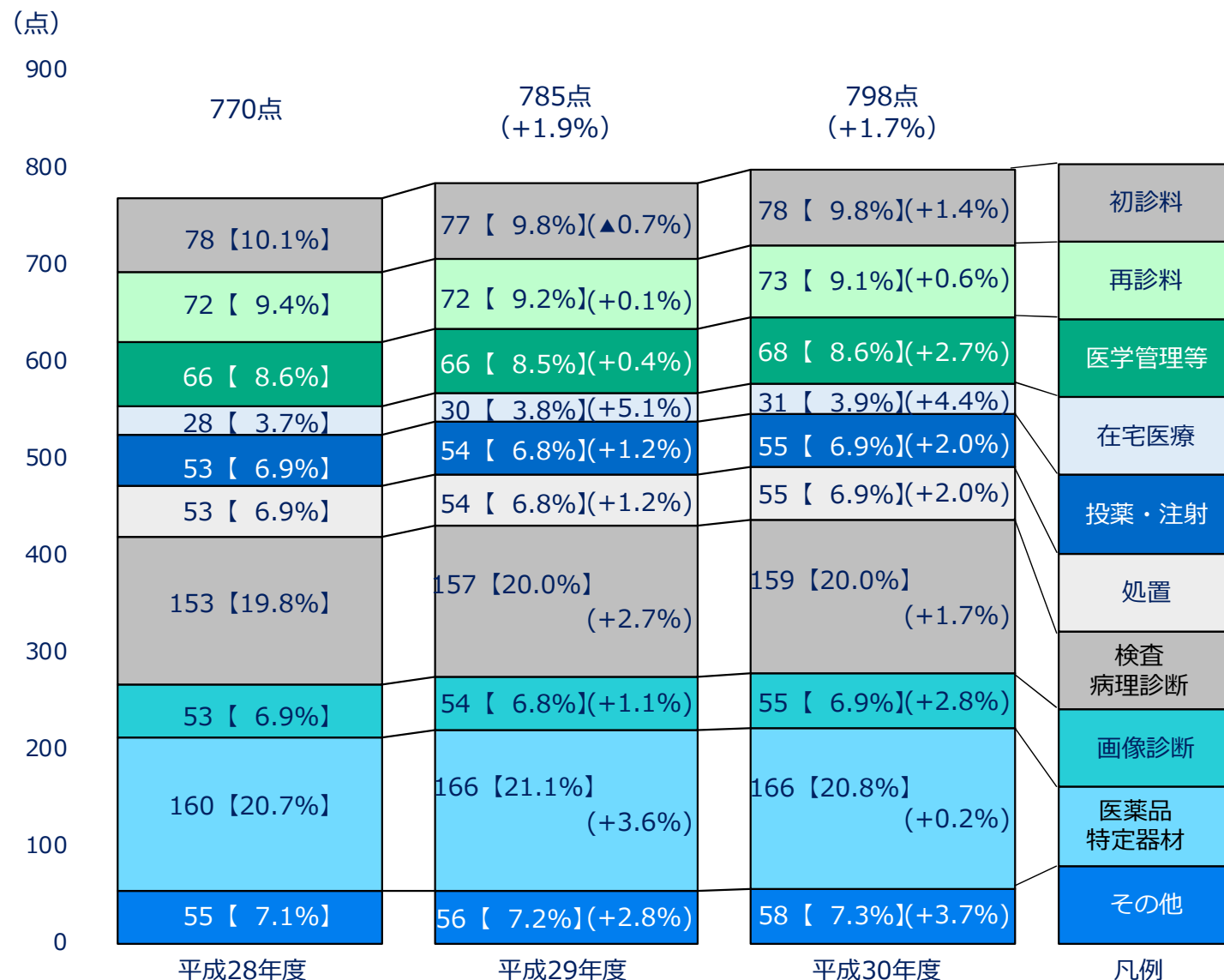
【包括評価】【手術】の増加
 「短期滞在手術等基本料2または3」ではなく包括評価を優先することになった結果、算定回数が増加した影響

【特定入院料】の増加
 「地域包括ケア病棟入院料」や「回復期リハビリテーション病棟入院料」の入院日数の増加による影響

- 1) 図中の【 】内の数値は合計に対する各数値の構成割合を示している。端数整理上、合計が一致しない場合がある。
- 2) 図中の()内の数値は対前年度増減率を示している。
- 3) 点数構成割合の3%未満の診療項目は「その他」に集計。ただし、平成30年度で構成割合が大きく減少した短期滞在手術は除く。

診療行為大分類の推移 ～電子レセプト 1日当たり点数～

医科入院外



平成30年度における主な増減要因

【医学管理料】の増加
「機能強化加算」や「小児抗菌薬適正使用支援加算」の新設による影響

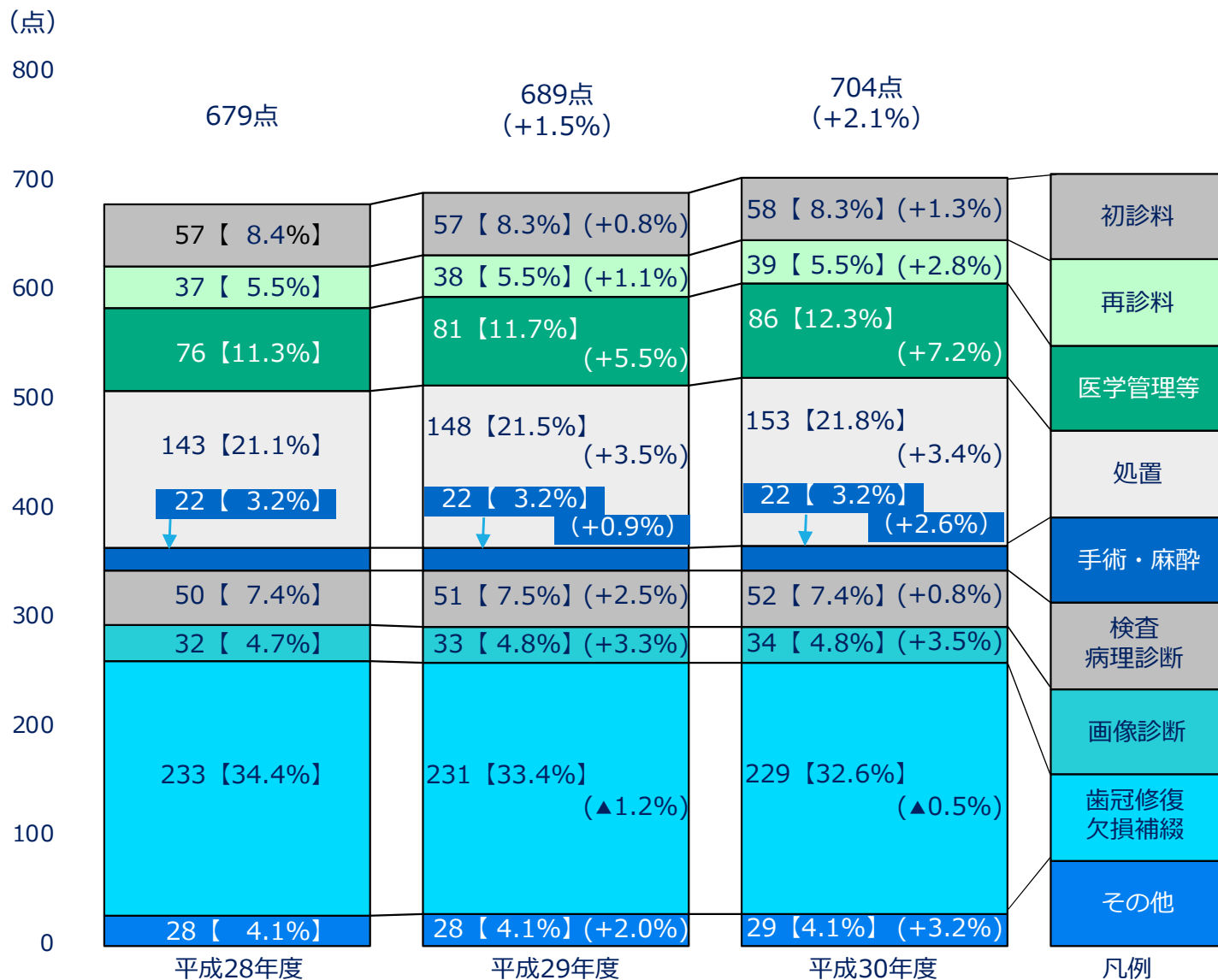
【在宅医療】の増加
「血糖自己測定器加算」や「在宅持続陽圧呼吸療法治療器加算」等の算定回数の増加による影響

【画像診断】の増加
「CT」や「MRI」撮影等の算定回数の増加による影響

- 1) 図中の【 】内の数値は合計に対する各数値の構成割合を示している。端数整理上、合計が一致しない場合がある。
- 2) 図中の（ ）内の数値は対前年度増減率を示している。
- 3) 点数構成割合の3%未満の診療項目は「その他」に集計。

診療行為大分類の推移 ～電子レセプト 1日当たり点数～

歯科



平成30年度における主な増減要因

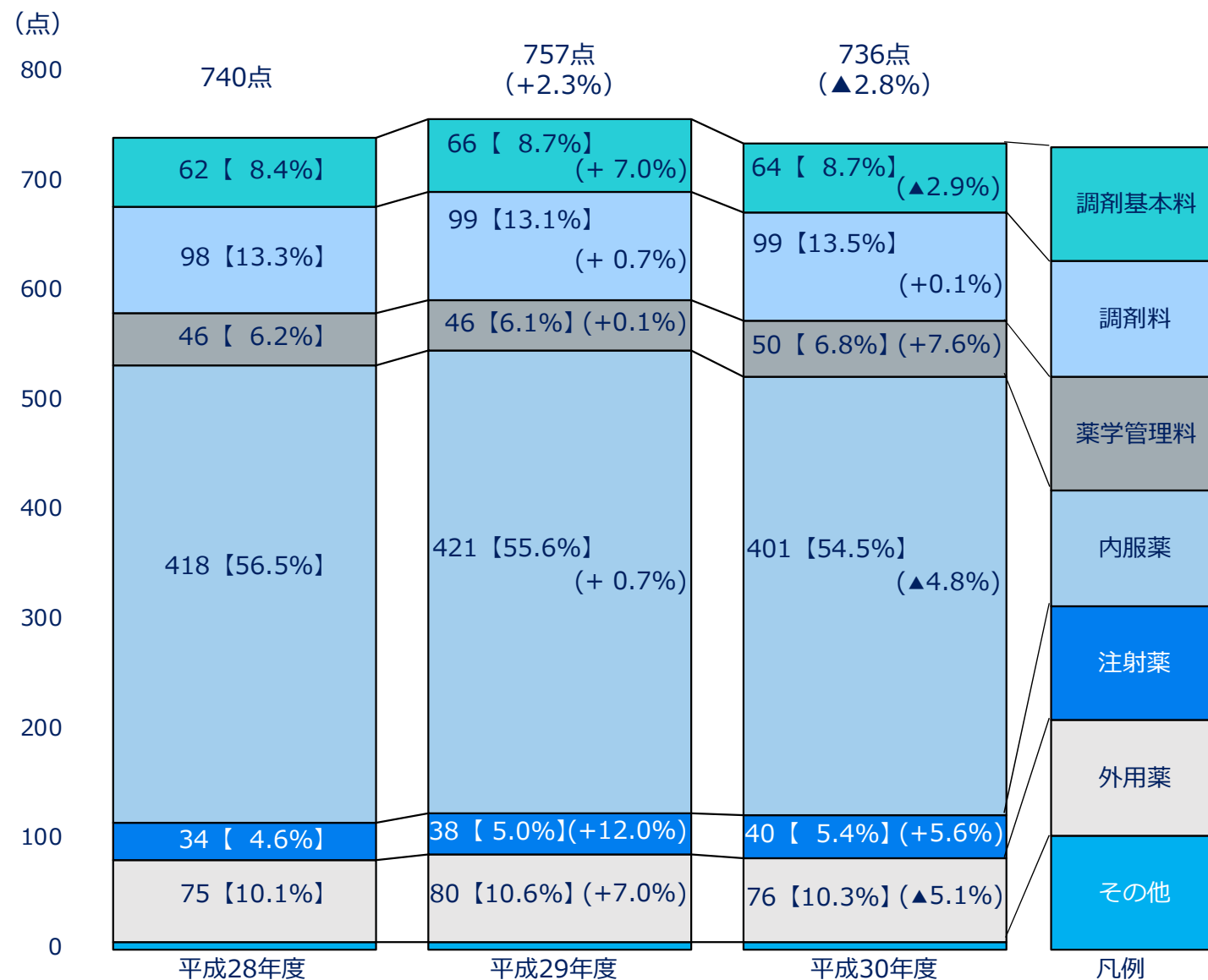
【医学管理等】の増加
算定要件の緩和に伴う「エナメル質初期う蝕管理加算」の算定回数の増加による影響

【処置】の増加
算定要件の緩和に伴う「歯周病安定期治療」の算定回数の増加による影響

- 1) 図中の【 】内の数値は合計に対する各数値の構成割合を示している。端数整理上、合計が一致しない場合がある。
- 2) 図中の（ ）内の数値は対前年度増減率を示している。
- 3) 点数構成割合の3%未満の診療項目は「その他」に集計。

診療行為大分類の推移 ～電子レセプト 1日当たり点数～

調剤



平成30年度における主な増減要因

【調剤基本料】の減少
「後発医薬品調剤体制加算」の見直しの影響

【薬学管理料】の増加
「薬剤服用歴管理指導料」の所定点数の引き上げによる影響

【注射薬】の増加
薬価改定による減少より数量の増加が大きいことによる影響

【内服薬】【外用薬】の減少
薬価改定による影響

- 1) 図中の【 】内の数値は合計に対する各数値の構成割合を示している。端数整理上、合計が一致しない場合がある。
- 2) 図中の（ ）内の数値は対前年度増減率を示している。
- 3) 点数構成割合の3%未満の診療項目は「その他」に集計。